

(様式第4号)

上田市国土強靱化地域計画策定委員会 会議概要

1 審議会名	第1回上田市国土強靱化地域計画策定委員会
2 日時	令和3年1月27日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	上田駅前ビル パレオ 2階会議室
4 出席者	清水茂会長、中村彰副会長、鈴木英昭委員（青木隆代理）、蓬田陽委員、矢島昭徳委員、五島幸典委員、笠原邦正委員、大厩朋幸委員（平林太代理）、田中聖志委員、岡田宝正委員、中村和己委員、中嶋政幸オブザーバー、浮田博文オブザーバー
5 市側出席者	都市建設部長、危機管理防災課長、危機管理防災課長補佐、政策企画課長補佐、土木課長、土木課長補佐
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 4人
8 会議概要作成年月日	令和3年2月2日

協議事項等

1 開会（土木課長補佐）
2 あいさつ（都市建設部長）
3 自己紹介（委員、オブザーバー）
4 市出席者の紹介
5 会長・副会長の選任について
6 協議事項
(1) 会議の公開について
・ 審議の結果、本日の委員会の会議及び次回以降の委員会の会議について「公開とする」
(2) 説明等
・ 資料1に沿い、事務局から上田市国土強靱化地域計画策定委員会設置要領について説明
・ 資料2に沿い、事務局から上田市国土強靱化地域計画の策定方針について説明 スケジュール（案）については追加資料6参照
・ 資料3に沿い、事務局から国土強靱化地域計画の概要について説明 昨年12月に県主催で県内市町村を対象に開催された国土強靱化地域計画策定に係る説明会資料を基に説明
・ 以降、協議
(会長) 事務局から説明があった(2)説明等については、我々策定委員会で決めることではなく、このことについて認識して今後この委員会に臨んでいくということによいか。
(事務局) よい。
(会長) この計画が策定された後、実際にアクションを起こすのは各関係部局か。
(事務局) 委員会で計画を策定する。位置付けをした施策や事業がかなり広範囲になる。それらについては個々に推進をしていく。全体を通して進捗管理は毎年度行っていく。公表なりをして確認をいただくということを考えている。
(会長) この委員会ではまず計画決定するという、原案を決めていくということによろしいか。
(事務局) よい。
(委員) 策定のスケジュールの中で、計画を策定した後、住民の皆さんへの周知はどんな方法を考えているか。
(事務局) 素案を作成したところでパブリックコメントをホームページ等で行う。概要等については広報等でも確認できるようにする。なお、地域住民への個別説明会等は予定していない。
(委員) 台風災害を受けた際に、こういった計画はより多くの方に見てもらうことが大事だと思った。皆さんに関心を持ってもらわないと防災、減災に繋がらないと痛感している。こうい

う計画があること、またこの委員会の結果も積極的に住民の皆さんに公表してもらいたい。災害の時は、増水しているから川に近付かないようにと発信していたが、実際に付近を通ってしまい、川に落ちてしまったということもあった。この計画を策定することによって得られる効果として、住民の皆さんの関心を高めるというのが一番ではないか。

(事務局) 計画を策定して終わりではなく、防災、減災ということを身近に感じていただくことが重要だと考えている。そのため情報提供をどのように行っていくかという課題はあるが、本日の審議内容についても公開をしていく予定である。

(委員) この計画では具体的にどの河川がどういう状況になったときにどうするといったような細かい計画ではなく、もっと広範囲な上田市全体の計画で、その中で地域ごとのリスク等については分野ごと検討していくということか。そういうことであれば、分野ごと横の連携が取れるような検討してもらいたい。全体的なリスクシナリオは検討してもらって、最終的には自治会単位でこういうときにはこうしようというシステム作りまでできればと思っている。

(事務局) 地域ごとの事象によってリスクも変わってくる。現在、自治会ごとに地区防災マップという形で進めているところもある。市民の意識を高めるために、こちらも順次進めていきたい。今回の計画は広範囲での計画づくりということで、全庁的な体制であらゆるリスクを想定しながら、次につながるような計画づくりを目指していく。

### (3) 本日御議論いただきたい論点について

- ・資料 (P47～) に沿い、事務局から上田市国土強靱化地域計画の策定にあたって「目標」、リスクシナリオ (最悪の事態) の設定について説明

#### ① 「目標」について

- ・国の目標と長野県の目標について説明
- ・併せて県内市町村の事例紹介

目標設定に向けて、上田市としては第二次上田市総合計画、後期まちづくり計画 (令和 3 年度～7 年度) に掲げている「都市将来像」、併せて基本理念、施策大綱を念頭に目標設定をしていきたい。

「総合目標」の設定については、上田市の地域特性などを踏まえ、庁内で検討し次回の委員会で提案をする。

「基本目標」の設定については、長野県と同じ基本目標としたい。

#### ② リスクシナリオ (最悪の事態) 設定について

自然災害の想定について、県の第 2 期強靱化計画及び上田市地域防災計画の被害想定や過去に発生した災害状況を参考として、庁内で検討し想定したい。

リスクシナリオ (起きてはならない最悪の事態) の設定については、国及び県のリスクシナリオを参考とし、維持・早期回復が必要な重要機能を念頭に置きながら、自然災害及び地理的・地形的、気候的、社会経済的等の地域特性を踏まえて設定したい。

- ・追加資料 4 に沿い、事務局から過去に発生した災害状況等について補足説明
- ・追加資料 5 に沿い、事務局から起きてはならない最悪の事態 (国と県の比較) について補足説明

- ・以降、協議

(会長) 「総合目標」については庁内で検討して案を出し、「基本目標」については長野県と同じものにするという方針で、次回の委員会で提案し協議するというのでよいか。

(事務局) 「総合目標」については、第二次上田市総合計画、後期まちづくり計画の将来都市像やキャッチフレーズを加味した中で案を出し、次回の委員会で提案する。

(会長) その他に意見がないようなので、目標については説明のあった方針で進めていただく。

次にリスクシナリオ (起きてはならない最悪の事態) をどう設定するかについてだが、こちらも国や県と調和を図りながら、また地域特性を踏まえたものを次回示してもらいたい

うことでよいか。

(事務局) そのように進めていきたい。

(会長) 本日の委員会では、内容を決めるのではなく、この方針で次回提案することを認めるということだが、意見等ありますか。

(委員) 台風 19 号の後、令和元年 12 月に住民アンケートを行った。千曲川の堤防が決壊しそうになった御所・三好町・諏訪形を中心に 2,000 軒ポスティングを行い、500 軒強が回答した。

#### アンケート結果の一部

・災害時実際に避難をしたか

「避難した」…69%

「避難しなかった」…31%

・なぜ避難をしなかったか

「自宅までは被害を受けると思わなかった」…70%

「移動手段がなかった」

「避難場所が遠い」

「避難できない家族がいた」

「避難所に行ったがいっぱい入れなかった」

・避難指示の情報をどのように入手したか

「近隣住民や消防団の呼びかけ」…47%

「上田市防災メール」…13%

「上田ケーブルビジョン」…4%

「NHK」…3%

「民放」…2%

こういったアンケート結果も反映させ、ハード・ソフト両面から計画を検討してもらいたい。

上田市の被災状況はほとんどが水害である。河川の堤防や橋の整備計画だけでなく、山の保水力という観点でも検討をしてもらいたい。上流からの出水を抑えるためにも、山や千曲川に繋がるそれぞれの河川の整備についても検討してもらいたい。千曲川については上田市だけの問題ではないので、国や県と協力をして上流からこの問題をクリアしていかなければならないと思う。

(事務局) この委員会ではそのような意見を数多く出していただきたい。行政としてできる部分もあるが、今日お集まりいただいた皆様にご協力いただかなければ市民の意識は高まっていかないと思う。皆様からの意見を取り入れつくり込みをしていきたい。山の関係についても、上田市は 7 割が山林であるため、山を守っていくことが、防災・減災につながると思っており、農林関係の部署にも計画に携わってもらう予定である。

(委員) 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、河川管理者等の取組だけでなく、流域にかかわる関係者が主体的に治水に取り組む必要がある。河川や下水道管理者による治水に加え、国、県、市、企業、住民等により流域全体で行う「流域治水」へ転換していく計画がある。千曲川については、各機関、上田市にも依頼をしている。上田市の流域治水の観点も整合が取れるように、国土強靱化計画を進めていってほしい。

また、昨年度の台風 19 号災害を受けて、流域タイムラインというのを検討している。

千曲川流域で大雨が予想された際にあらかじめ各機関に伝達する仕組みで、上田市も構成に入っている。こういったことも国土強靱化を進めるうえで参考になるかもしれないのでご検討いただきたい。

(委員) 目標及びリスクシナリオについて、一部上田市独自のものを入りたいと考えていると思う。これから庁内で素案をつくり委員会で協議していくと思うが、次回の委員会の際には、委員には事前に資料を配布して意見を聞いてもらいたい。様々な専門家が集まっているので、その方がよりよい委員会になると思う。進め方の要望になるが検討いただきたい。

(事務局) 委員会の中では時間的な制約も出てくる可能性があるので、進め方として検討したい。

#### ○協議結果

「総合目標」の設定については、上田市の地域特性などを踏まえて庁内で検討し、次回の委員会で提案することとし、「基本目標」の設定については、長野県と同じ目標とする。

リスクシナリオの設定についても、国及び県のリスクシナリオを参考とし、上田市の地域特性を踏まえて庁内で検討し、次回の委員会で提案をする。

7 閉 会 (都市建設部長)